

二俣瀬「あいのう木田」のじゃがいも定植の様子取材しました



二俣瀬地域の広大な田んぼで学校給食にも提供する秋じゃがいもの定植です。この機械はなんと、肥料まき、畝づくり、植え付けを一気にしてくれる機械です。種イモの植え付けは、手作業のときは種イモ切り口を下にして植えていきますが、機械作業なのでそれは難しいですが、ちゃんと28センチ進むと1個種イモが落ちるようになっています。深さは7センチのところ。素晴らしいですね！ちなみにこれが種イモです。すこし黒っぽいですね。



◀ 肥料
ですよ 



あいのう木田のじゃがいもの品種は「ニシユタカ」です。ニシユタカは男爵に比べて、ねばりけがあり煮くずれがしないということで、給食でも大変重宝されています。市内の学校給食には、秋じゃがいもだけでも7～8トン提供しています。現在あいのう木田は秋じゃがいもを1ha植えていて、20トン位の収穫を見込んでいます。残りの12～13トンは市場へ出荷したり、直売所で販売する予定です。



秋じゃがいもは8月末に植えて、11月下旬から収穫が始まります。土が冷蔵庫の役割をしてくれるので、11月、12月、1月と3度くらいにわけて収穫が可能です。そのおかげで、学校給食にも長期間秋じゃがいもを納品できるのです。



笑顔の素敵な、あいのう木田の代表理事内藤さん。子ども達のためにと、収穫体験や料理教室なども毎年企画されています。地元の朝市の代表も兼務し、規格外のじゃがいもや自慢の農産物を販売されています。12月頃にぜひみなさんも、あいのう木田自慢の秋じゃがいもを見つけに行ってみてくださいね。他にもサンパークあじす内新鮮館でも販売予定です。



朝市の場所は、JA山口宇部二俣瀬支店の敷地内にあります。毎日、10:00～15:00の間あいています。となりには二俣瀬産の食材を主に使用した食事処「ダムの郷」がありますよ